

妙法華寺便り

令和6年3月号

◇ 行事報告 ◇

2月18日（日）摩利支天月例祭

早いもので、3月は彼岸月になります。ご先祖様に手を合わせて感謝の心を手向けていきましょう。

さて、皆様はお仏壇やお墓で線香を上げておられると思います。お寺などではお香を焚きます。また、皆様はお寺などでは、お焼香されますね。どうして線香や香を焚くのでしょうか。それは、仏さまやご先祖様などにお香や線香を焚き、よい香りを届けることが供養となるからです。



この「香」による供養のことが、「法華経法師品第十」に説かれています。仏さまを供養する十種類の方法として「華・香・瓔珞・抹香・塗香・焼香・繪蓋幢幡・衣服・伎楽・合掌」を挙げています。「華・香」は生花の香りを供養することです。「抹香」は香木を粉末状にして香炉で焚くものです。「塗香」は香を身体に塗って清めることです。「焼香」は一般的なお香を自分で焚く供養のことです。このように十のうち、四つが「香」なのですから、供養の方法として如何に「香」が大切か分かります。

この他にも、仏教では、仏さまや三宝（仏法僧）に供える五種類の供養として、塗香・焼香・華鬘（お花）・飲食・灯明の五つを挙げており、これに闍伽（水）を加えて六種供養としています。



熱帯の国インドでは、お釈迦様の説法を聞く時はお香を身に塗っていたそうです。古代から体の臭気に対する配慮がなされており、お香に対する関心が高かったようです。

また、中国の宋の時代の黄庭堅^{こうていけん}によって記された漢詩「香十徳」には、「感格鬼神^{かんかくきしん}
清浄心身^{しょうじょうしんしん} 能除汚穢^{のうじょ お え}」などと詠まれ、「感覚が神仏のように研ぎ澄まされ、身心を
清らかにし、よく穢れを取り除く」というお香の効果が説かれています。

人間が誕生してから次の世代、次の世代へと続いて、今の自分たちがあります。

どうぞ清らかな気持ちで、心穏やかに近いご先祖様から前の世代、前の世代へのご
先祖さまを偲びながら、お彼岸をお過ごし下さい。

◇ 行事案内 ◇

摩利支天月例祭

4月18日（木）、5月17日（金） 午前10時より執行いたします。



※5月は日にちが変更になりますので、よろしくお願いします。

摩利支天様の御宝前にて各家の家内安全、身体健全を祈願し、お加持を受けます。
皆様のご参加をお待ちしております。

なお、お供えは、摩利支天様一体千円以上、お賽銭百円以上を申し受けます。

グランドゴルフ大会

4月17日（水）に「岡山県宗務所主催のグランドゴルフ大会」、4月22日（月）
に「庭瀬組寺主催のグランドゴルフ大会」が岡山ドームで開催される予定です。参加
希望の方はご連絡ください。

◎ 護持会費のお願い ◎

3月18日以降にお世話人のおられる方は、お世話人がお伺いいたします。
その他の檀家の方には、振込用紙を同封させていただきますので、納入の程、よろしく
お願いします。

◇ 近 況 ◇

春が少しずつ訪れています。

境内の花々が

咲き始めました。



合 掌

